



北国の厳しい冬の到来です。
馬淵川では、白鳥の姿も見られるよう
なってきました。さて今月は、12月10日(火)に

令和元年度 馬淵川水系水門等水位 観測員講習会 を行いました

当出張所が担当する馬淵川の区域では、洪水対策のため樋門・樋管を20箇所設置しております。地元にお住まいの『水門等水位観測員』の皆さんが、毎月の点検や増水時の水位観測・ゲート操作を行っています。毎年12月に開催する講習会では、日頃の課題や対応を確認し、操作技術の向上に努めています。



今回の講習会は、沼館地区にある津波防災センターで開催され、観測員27名が参加しました。みなさん真剣な姿で講話に耳を傾けていました。



◆◆◆ 樋門・樋管の一例 ◆◆◆

浅水川排水樋門

小さな川や、水路を流れる雨水・水田の水が、更に大きな川へ合流する際、洪水により合流地点の水位が高くなると樋門・樋管のゲートを操作します。それにより、川の水が市街地へ逆流することを防いでいるのです。

観測員のみなさんは日頃から気象情報に注意し、出水時、荒天も夜間も関係無く馬淵川を見守ってくださっています。

